

# 大宜味村

## 農業委員会だより

耕作された元気な畑から村の未来が見えます。



第1号  
平成25年1月7日(月)  
編集・発行 大宜味村農業委員会  
☎0980-44-3477

### 全国農業新聞

購読料：月額600円  
年間購読7,200円  
発行：毎週金曜日  
申込み：農業委員会事務局  
連絡先：44-3477 担当：大城

#### 農業委員会 1月予定表

日(曜日)	内容
10(木)	許可申請等提出締切
19・20	大宜味村産業まつり
24(木)	総会(許可等審査会議)
29(火)	農家・農業委員との意見交換(午後6時第2会議室)

## 新年の挨拶



大宜味村農業委員会  
会長 照屋まり

新年あけまして  
おめでとございます。

昨年は、私達農業委員の活動にご理解・ご協力くださり深く感謝申し上げます。

昨年は、台風災害等農作物の生産にも大きく影響し農家にとって厳しい状況がありました。

しかし、そのような中でも、耕作放棄地事業での農地解消拡大、新規作物そば生産量の増と大宜味村の新たな農業経営が生まれてきました。

また、将来の大宜味村を担う担い手の育成として、青年給付金制度を活用し、担い手が安心して農業に専念できるように明るい見通しも出てきました。

村的には、企業の参入もあり雇用の拡大も期待されます。

私たち農業委員も、農家の身近な相談員としてお役にたてるよう、村と連携し、一層農業施策の推進に努めたいと考えております。一月二十九日には農家との意見交換会も計画しておりますので是非ご参加ください。将来の大宜味村の農業のあり方を一緒に考えましょう。

今年は、農業所得も増えますよう、農家の皆様にとって良い年となりますようご祈願申し上げます。

## 農地の相続手続きは親からの最後の宿題

津波出身の金城哲成氏(あけみお司法書士事務所所長)を招き、農地の相続等についての説明会を十一月二十三日大宜味校区を皮切りに4校区で開催いたしました。延べ50名程の参加があり、金城氏から身近な事例、手続き方法の説明を受けました。「相続の手続きを面倒くさがり後回しにすればその分農地の権利者、作業量が増え一層難しくなる。『相続の手続き作業は親からの宿題』と受け止め早めに解決することをお勧めしたい」と話していた。金城氏の説明によると、費用の負担については、相続権利者との協議がスムーズに進めば金額等負担は少なく済む、しかし、農地の地権者が増えたらその分作業量が増え経費もかかる、土地代金に見合わない額の費用となる恐れがある。また、参加者からは、「契約してないが農地を貸している大丈夫か?」との質問に、農地法に基づけば、農地の地権者に責任があり管理の義務が生じる。きちんとした契約を行うことにより土地の権利所在がはっきりし将来問題の発生を防ぐことができる。農地委員会事務局局長宮城久美子は、「トラブルの多くが口約束での農地利用者が多い、金城氏のお話を伺い相続、農地の契約、推進を一層強化する必要を感じた」と話していた。金城氏は「困ったことがあればお気軽にご相談に来てほしい、大宜味村の農業施策への貢献と考えているので協力したい」と話され、当日は息子の哲志氏も同席し住民からの質問に答えていた。

問い合わせ：あけみお司法書士事務所  
電話0980・53・3461

**\*相続手続き終了後は農業委員会へ届ける義務があります。**

## 農業者年金

60歳未満の国民年金の  
第1号被保険者で、  
年間60日以上農業に従事  
していれば加入できます。

## (積み立て) 国民年金+農業者年金=将来の生活資金

農業者年金は農業者の為の安心年金で

### 【年金の特徴】

#### 特徴1

##### 少子高齢化に強い年金です！

自分が積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる積立方式の年金です。

#### 特徴2

##### 終身年金で80歳までの保証付き！

年金は生涯支給されます。仮に加入者・受給者が80歳前になくなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

#### 特徴3

##### 税制上の優遇措置！

支払った保険料は全額(12万円～80万4千円)が社会保険料控除の対象。だから、所得税や住民税の節税につながります！

#### 特徴4

##### 保険料の額は自由に決められます！

自分が必要とする年金額の目標にむけて、保険料は月2万から6万7千円の範囲内で、千円単位で自由に選ぶことが可能です。

#### 特徴5

##### 保険料の国庫補助があります！

認定農業者等一定の要件を備えた方には、基本保険料(月2万円)の2割から5割の国庫補助があります。(補助期間は最大で20年)

## 宮古島視察

沖縄県畑作物連絡協議会(会長 平良幸太郎)会員9名は十二月四日から二日間、宮古島の蕎麦、枝豆及び、さとうきびの圃場視察を行い、宮古島の農家と意見交換を行いました。現在大宜味村では蕎麦生産組合を3農家で組織し栽培をを行っています。宮古島でも蕎麦を生産しており、6tの収穫量があったとのこと。

大宜味村の蕎麦生産農家の平良幸也さんは「二十三年度は2tの収穫量であったが、今後はより一層収穫量を上げることを目標としていきたい」と話していた。

宮古島の収穫量が「かん水設備の充実」「鳥害が少ない」と三つの事が考えられます。

今後大宜味村でも、生産技術の向上が図られることにより収穫量が増え農家の生産基盤が確立されるものと期待されます。



宮古島市の生産者から蕎麦の保管状況説明を受ける



お問い合わせは...  
大宜味村農業委員会へ  
0980-44-3477  
担当：大城

# 農業委員会活動風景

12月4日(火)  
畑作物連絡協議会 9人  
宮古島市ソバ調査活動



「手動のコンバインでの作業は大変です」との事でした。



サトウキビ畑農林21号反収19t 農林水産省大臣賞を頂いたとの事です。

12月15日(土) 琉球大学農業研究サークル部8人  
耕作放棄地大宜味村の状況視察。  
将来は大宜味村の農業担い手になってほしいな一。(蕎麦工場)



大宜味村の自然の景観に学生感動!!

シャッターチャンスは大きな声で



いつも楽しい2人。25年度初笑い。

訂正  
先月発行分、大宜味災害箇所視察(大宜味団地横)の写真で「台風22号で道路損壊」と記載しましたが、台風15号の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

12月7日(金) 30人  
村の農業委員(大宜味・国頭・東)交流研修会



蕎麦工場視察

蕎麦圃場視察



12月14日(金)  
耕作放棄地協議会・おおぎみまるごとツーリズム協会・アイモコさんとベチパー植栽イベント(大宜味村での民泊体験)  
県外の高校生も赤土に触れ環境の勉強です。



他市町村からの  
大宜味和そばの視察

12月13日(木)  
国頭村農業青年12人が蕎麦圃場視察



アイ・モコさん



大宜味村の自然に触れて大満足。来年も来てくださいね。

**農地相談会を産業まつり会場で開催します。**  
一月十九日・二十日、大宜味村産業まつりにおいて農地等相談窓口を設けます。併せて、委員の皆さんで、サンマとシークワサーのコーポ、サンマの炭焼きを出店することと致しました。農家の皆さん気軽に声をかけていただけるようお待ちしております。

**豊かな村づくりは農家所得の向上から。  
住民の義務と権利**

農業所得申告終えましたか? 税のお話をすると引いてしまおうのが殆どだと思いますが、補助金のお話は誰しも嬉しいものでつい前にでてしまいますね。みな同じです。でも、補助金はどこから来るお金? 国、県、はもちろんですが、村民の血税も含まれています。使う人がいれば、出す人がいる訳です。農業で収益を上げることが、優良農家として村の自慢であり、誇りです。

村の農業の活性化を目的に、国、県の農業施策事業を推進し、一人でも多くの優良農家の育成を図り、豊かな村づくりに繋げるこの活動は農業委員会の役目と認識しています。

村民として義務も果たし権利も主張しましょう。  
申告がまだ済んでいない方は是非早めに済ませ大宜味村の農業施策を強化しましょう。

大宜味村農業委員会事務局長 宮城久美子

**新年の笑いはじめ(農業委員のエンタクから提案)**

悟「写真撮るとき『ハイ チーズ』と言うのは某会社の企みだよ! チーズのズと発音すると口は締まっている、シークワサーのサーは口が大きく開いて、にこやかな顔の写真写りがするさ!」  
保幸「そうだよ、大宜味村の人ならシャッターチャンスは『シークワサー』と言うべきなんだよ」という事になり、農業委員会では今後、写真撮影、それから「エイ エイ オー!」では無く、すべて声高に「シークワサー」という事になりました。それで、協賛する団体は農業委員会事務局で受け付けますので申し出てください。随時受付中です。